

平成28年度決算の

概要をお知らせします

一般会計

図財政課 32-2020

目的別歳出			区分		
区分	決算額	構成比	区分	決算額	構成比
民生費	174億1,931万円	35.9%	農林水産業費	16億1,746万円	3.3%
教育費	60億7,123万円	12.5%	商工費	15億9,063万円	3.3%
公債費	58億5,840万円	12.1%	諸支出金	4億5,035万円	0.9%
土木費	51億4,551万円	10.6%	議会費	3億8,169万円	0.8%
総務費	48億3,863万円	10.0%	労働費	2億4,158万円	0.5%
衛生費	31億855万円	6.4%	災害復旧費	2,045万円	0.1%
消防費	17億2,965万円	3.6%	計	484億7,344万円	100%

平成28年度の主な事業 ①

生活・教育支援

小中学校施設整備事業（校舎等改修13校、空調22校）	20億5,525万円
児童手当	17億6,434万円
生活保護費	15億19万円
保育所移転建設事業（みどりの丘保育所）	5億7,826万円
津山圏域衛生処理組合負担金（し尿処理施設建設事業等）	4億543万円
臨時福祉給付金・年金生活者等支援臨時福祉給付金	4億4,052万円
子ども医療費公費負担事業	3億7,330万円
津山駅北口広場整備事業	3億1,617万円
放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ運営委託）	2億2,510万円
防災行政無線デジタル化事業	2億2,264万円
公民館施設整備事業（広野、清泉、田邑、二宮）	1億5,177万円
幼稚園再構築施設整備事業	1億2,411万円
総社川崎線整備事業（山北工区）	1億1,704万円
（沼－林田工区）	4,763万円
庁舎耐震化事業	4,546万円
不妊・不育治療費助成	537万円

子どもの教育環境を整備



小中学校施設整備

小・中学校の普通教室への空調施設の整備や老朽化した校舎・体育館・プールなどの改修を年次的に行っています。

保育環境の整備



みどりの丘保育所建設

一宮保育所の老朽化に伴い、大田地内にみどりの丘保育所を新築し、移転しました。子育て支援センターなどの機能も備えました。

津山の新たな玄関に



津山駅北口広場整備

国道53号で分断されていた公共バスの乗降場を津山駅側に移転するなど、整備を行いました。

津山圏域クリーンセンターの運営



稼働中の津山圏域クリーンセンター

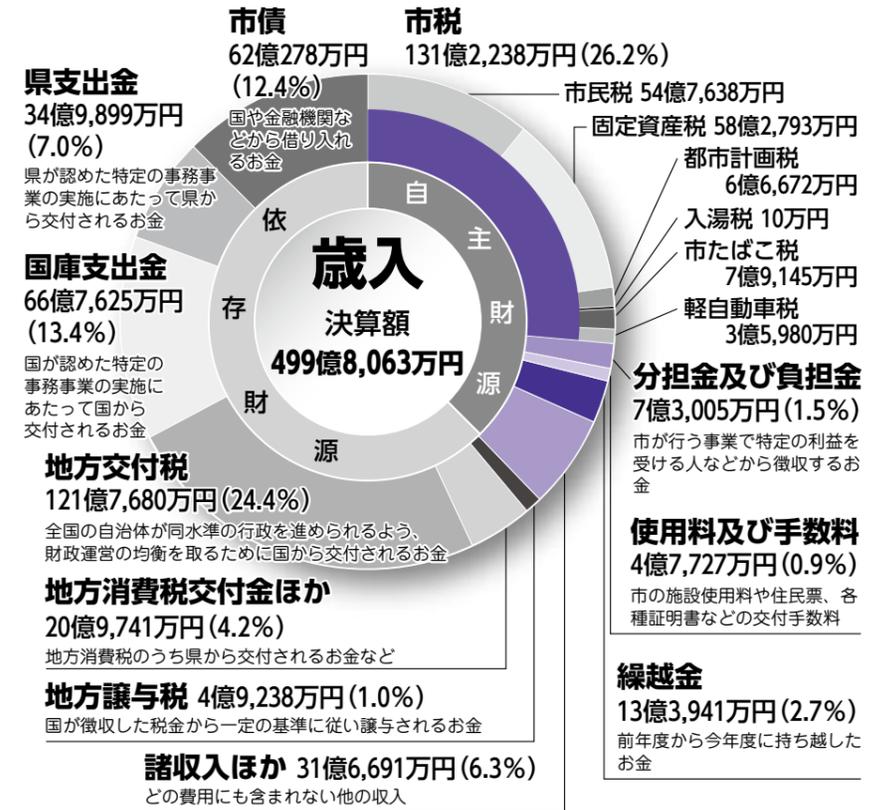
津山圏域クリーンセンター（熱回収施設、リサイクル施設、最終処分場）の稼働を開始しています。

ごみ対策

津山圏域資源循環施設組合負担金	6億2,158万円
ごみ焼却施設解体撤去事業（小桁、旧西部衛生施設組合）	5,890万円
資源回収拠点整備事業	222万円

歳入の特徴

- ◆歳入決算規模は、前年度比8億7,080万円（1.8%）の増
- ◆市税は、徴収率が昨年度95.7%から96.2%に上昇。個人市民税、固定資産税、軽自動車税の増などにより、全体で1億1,620万円（0.9%）の増
- ◆地方交付税は、普通交付税3億6,079万円の減などにより、全体で3億9,495万円（3.1%）の減
- ◆国庫支出金は、年金生活者等支援臨時福祉給付金の増などにより、1億9,195万円（3.0%）の増
- ◆市債は、小中学校施設整備事業やみどりの丘保育所建設事業に取り組んだことなどにより、3億6,340万円（6.2%）の増



投資及び出資金 1,679万円（0.1%）

市が行政活動を行う上で必要な団体へ出資したお金

積立金 9億7,626万円（2.0%）

減債基金や公共施設長寿化等推進基金などに積み立てたお金

公債費 58億5,817万円（12.1%）

道路や公共施設などの整備のため借り入れた市債の返済に充てるお金

普通建設事業費 67億6,915万円（14.0%）

道路や橋、学校、公園などの建設・整備に使ったお金

災害復旧事業費 2,045万円（0.1%）

大雨などによる農林災害・土木災害の復旧に使ったお金

貸付金 1億2,000万円（0.2%）

民間団体などに対して必要な資金として貸し付けたお金

繰越金 53億8,022万円（11.1%）

国民健康保険や下水道事業などの特別会計へ繰り出したお金

人件費 69億6,691万円（14.4%）

職員や特別職の給与、議員・各種委員会委員の報酬などに使ったお金

物件費 49億7,302万円（10.2%）

業務委託料や使用料など物財調達に使ったお金

維持補修費 4億4,055万円（0.9%）

市の施設などの補修に使ったお金

扶助費 108億6,997万円（22.4%）

生活保護費や児童手当、医療費などに使ったお金

補助費等 60億8,195万円（12.5%）

各事業や団体への補助金や負担金に使ったお金

歳出 決算額 484億7,344万円

市民1人当たり

歳出 約47万円

（平成28年度末の人口を基に計算）

歳出の特徴

- ◆歳出決算規模は、前年度比17億302万円（3.6%）の増
- ◆人件費は、退職手当や共済組合負担金の減などにより、3億6,426万円（5.0%）の減
- ◆扶助費は、保育所運営費や障害者自立支援給付費の増などにより、6億5,986万円（6.5%）の増
- ◆積立金は、今後見込まれる公共施設の修繕、改修等に対応するための公共施設長寿化等推進基金への積立金の増などにより、5億484万円（107.1%）の増
- ◆普通建設事業は、小中学校施設整備事業やみどりの丘保育所建設事業に取り組んだことなどにより、13億1,385万円（24.1%）の増